

さがみはら生物多様性 ネットワーク ニュース

第15号

発行日
2021年12月



発行 さがみはら生物多様性ネットワーク

さがみはら生物多様性ネットワークは、生物多様性を将来にわたり保全するための取組を実施し、人と自然が共生する社会の実現を目指しています。生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生きものは全て直接また間接的に支えあって生きています。

会員募集中!! (詳細は裏面へ)

生物多様性はSDGsの根幹

人々が安心して持続可能に暮らしていくために、人類生存の基盤である「生物多様性」の損失をどうやって止めることができるかという問題意識が、持続可能性をキーワードに世界中で合意したSDGs達成の根幹をなしています。そのため、来春に中国で開催予定の生物多様性条約COP15で決議される2030年目標の内容は、SDGs達成にとって非常に重要とされています。

SDGs達成なくして人類は地球上で生きのびていくことはできないというのが、いまや世界の共通認識です。この共通認識を支えているのが国連の報告書「IPBESグローバル評価報告書」です。2014～2018年にかけて50か国以上の科学者がかつてない量の知識を集約・分析し、地球規模で生物多様性の現況と生物や生態系に由来する人が受けている恵み(生態系サービス)に関する調査を行い、2019年に発表されたものです。この報告書は世界中に大きな衝撃を与えました。

報告書によれば、すでに世界の陸地の75%は著しく改変されており、海洋の66%は悪影響を受け、湿地に

いたっては85%が地球上から消滅。その結果、そう遠くない未来、地球上の生物800万種(人類が把握しているものだけ)のうち100万種が絶滅するというのです。

地球はあらゆる生命の網の目のような関係性によって構成されています。人もその網の目に組み込まれており、わたしたちひとりひとりの行為が連鎖しながら全体に影響を与えていきます。何を食べ、何を着るのか、どんな仕事をするのか、そういったことが生命の網の目を断ち切ったりすることもあれば、つないでいくこともあります。

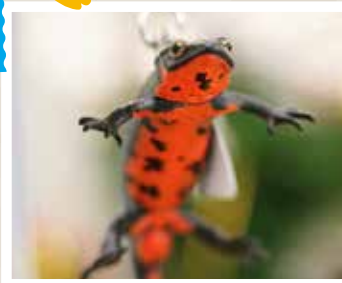
報告書は劇的な社会変容が必要であることをうたっていますが、「人間とは自然の一部であり、生き物である」という当たり前のことをわたしたちが思い出し、他の生き物に対するまなざしが変わることこそが最も大きな社会変容にほかなりません。

国連生物多様性の10年市民ネットワーク代表
坂田 昌子

ガチャガチャで生物多様性!?

豊かな相模川の水を利用した水路が施設前の公園に広がり、建物も水上に浮かんでいるようなデザインで、かながわの建築物100選のひとつに選ばれている「相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら」。淡水魚を中心に様々な展示が楽しめる施設ですが、館内のミュージアムショップにおもしろいガチャガチャがあるのをご存じでしょうか。

なんと、両生類をモチーフにした、非常にリアルなフィギュアが景品なのです。本物の生物を飼うのはなかなか難しいかもしれませんが、ガチャガチャでゲットした景品を持ち物につけたり部屋に飾ることで、普段から生物多様性を意識するきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。



ガチャガチャ景品のアカハライモリとオオサンショウウオのフィギュア



相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら
(事業者会員) <https://sagamigawa-fureai.com/>

会員活動 紹介

自然観察員から見た身近な生物多様性

個人会員 遠藤 弘一さん
(ペンネーム：藤堂 知宏)

今回は野鳥の「カワセミ」を通して生物多様性を見ていきたいと思えます。以前は「清流の宝石」と言われ珍鳥でしたが、最近市内の鹿沼公園でも見られます。理由は下水道の普及により河川が浄化され、川にエサのアブラハヤやモツゴ等の小魚が棲める環境になったからだと考えられますが、私はカワセミではないので定かではありません。

他にトンボやオタマジャクシ、エビ等、口に入りそうな生き物は何でも食べてしまう逞しさを感じます。それらの生き物は、カヤハエ、プランクトンや水草、コケ、藻、微生物など多種多様な生き物を、更にそれらの生き物の餌や適した環境は？と考えると今日も寝られなくなります。

そんな想いを込めた「ぼくはヒーロー?!」という絵本を今回文芸社から出版しました。是非ご一読いただければ幸いです。



境川(淵野辺本町5丁目付近)にて執筆者撮影

生物多様性に関する本を読んでみよう!



『ぼくはヒーロー?!』
作：とうとうかずひる
絵：カトウヨシミ

物語を通じて、カワセミのリアルな生態を知ることができます。



『相模川河原
望地の田んぼ』
写真・文：小野慎一

市内の望地周辺の自然風景や生物の様子が詰まった一冊です。



『続 わけあって絶滅しました。世界一おもしろい絶滅した生きもの図鑑』
今泉忠明 監修
丸山貴史著
サトウマサノリ 作画
ウエタケヨーコ 作画
北澤平祐 作画

生物がどうして絶滅してしまったのかについて、楽しく学べます。

あなたにも
できる!

生物多様性を元気にしよう!

○今回のテーマ「買い物」

～このマークを探してみよう!!～

レインフォレスト・アライアンス認証マーク



生物多様性や森林の保護、農場で働く人々の労働環境の向上など、より持続可能な農法に従う農園産の原料が使用された製品であることを示します。

詳しくはこちら⇒ra.org/ja

私たちの買い物は生物多様性を守る力になります。商品についているマークや表示を確認してしっかり選びましょう。

MSC「海のエコラベル」



海を守り、いつまでも魚を獲り続けられるための基準を満たした持続可能な漁業で獲られた水産物につけられています。

詳しくはこちら⇒<https://www.msc.org/jp>

会員募集中!! 入会随時

さがみはら生物多様性ネットワークに入会して、生物多様性の保全と一緒に取り組みませんか。ネットワークの趣旨に賛同する個人・団体・事業者で活動に積極的に参加していただける方であれば、どなたでも入会できます。

年会費…1口 1,000 円

個人・団体会員 / 1 口以上
事業者会員 / 2 口以上



発行者：さがみはら生物多様性ネットワーク事務局
(相模原市水みどり環境課内)

住所：相模原市中央区中央 2-11-15

電話：042-769-8242

Eメール：midori@city.sagamihara.kanagawa.jp